

平成29年度 事業計画

仙台空港鉄道は、会社発足時からお客さまに安心してご利用いただくことを目標に掲げ、安全性の向上に取り組んできました。2017年度は仙台空港アクセス線が開業して10年の節目であり、「安全」が経営の最重要課題であるという、会社発足の原点に立ち返り、次の10年に向けてお客さまはもとより地域の皆さまにも信頼され、安心してご利用いただける鉄道を目指し、事業を推進します。

1 安全輸送の確保

輸送業務の最大の使命である「安全」を確保し、開業以来の10年間の運転無事故を今後も継続すべく、運転業務に従事する係員の知悉の向上、安全管理体制の更なる強化に取り組むとともに、車両・設備の保守管理を適切に実施します。

- (1) 異常時訓練等の教育・訓練による安全性向上の推進
- (2) 安全点検、安全に関する業務監査等実施による安全管理体制の強化
- (3) 駅ホームにおける安全性向上に向けた取組みの強化
- (4) SAT721系車両の定期検査及び映像受信機等の更新工事の実施
- (5) 空港鉄道変電所しゃ断器及び空港トンネル排水ポンプ保守・修繕の実施

2 サービスの向上

お客さまのご利用状況及びお客さまの視点に立った輸送改善を進めるとともに、鉄道輸送の安定性、快適性、利便性の向上など、より質の高いサービスを提供します。

- (1) お客さまのご利用実態等を反映した輸送改善の実施
- (2) お客さまのご利用状況に合わせた輸送力の確保
- (3) 異常時を想定した早期運転再開訓練等の実施
- (4) お客さまが必要とする情報の的確な提供
- (5) 輸送障害時におけるJR東日本との連携強化

3 鉄道輸送以外の収入確保に向けた施策の展開

魅力ある新たな鉄道グッズの商品化等により、収入の確保に努めます。

- (1) 「鉄道むすめ」等新たな商品開発によるグッズ販売の拡充
- (2) 鉄道フェスティバル等による鉄道グッズ販売活動の実施
- (3) 駅構内等における広告収入確保に向けた営業活動の展開

4 業務遂行体制の改善

より効率的な業務遂行体制を推進するとともに、業務内容の精査、見直し等により経費の節減に努めます。

- (1) 社員の担当業務兼掌化の推進
- (2) 工事工法の見直しによる工事契約業務等の最適化
- (3) 部外へ委託している業務の直轄化
- (4) 省エネルギーに向けた取組みの推進

5 人材の育成

社員一人ひとりの技術・技能の向上を図るための、より実践的な教育・訓練を実施するとともに、自らの役割を自覚するための取組みを進めます。

- (1) 社員の多能化に向けた教育・養成の推進
- (2) 鉄道固有の技術・技能を修得するための社外研修への参加
- (3) 各種委員会活動及び勉強会による社員のレベルアップ
- (4) 鉄道に関する社外通信研修等の懲憑

6 地域社会との連携

各種イベント、行事等を通して地域との連携を推進し、地域のみなさまに愛され、親しまれる鉄道を目指します。

- (1) 仙台空港線沿線イベント等への参加
- (2) 駅構内公設掲示板等による地域情報の発信
- (3) 仙台空港アクセス線開業10周年に合わせたイベント等の実施